

# 豊総男女共同参画推進懇話会活動報告

## 令和7年2月3日に第4回豊総男女共同参画推進懇話会を開催しました！

### I.概要

豊川用水地域の農業に関わる行政、組合、大学等により、昨年「豊川用水次世代農業推進協議会」が設立されました。当土地改良区は、事務局を務めるとともに政策提案を行っています。

#### 【メンバー】

|                                                                                   |                                     |                                                                                     |             |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
|  | 功刀 由紀子（豊総総括監事、会長）                   |  | 杉本 あき（豊総理事） |
|  | 柴田 芳子（豊総理事）                         |  | 山内 祐子（豊総理事） |
|  | 渡辺 泰弘（豊総理事）                         |  | 林 華子（豊総主事）  |
|  | 小柳津 貴宏（愛知県農林基盤局農地部 農地計画課 課長補佐）      |                                                                                     |             |
|  | 河野 真砂子（愛知県東三河農林水産事務所 農業改良普及課 主任専門員） |                                                                                     |             |
|  | 文野 耕太郎（豊橋市 市民協創部 市民協働推進課 課長補佐）      |                                                                                     |             |
|  | 埴原 絢美（水土里ネットほの国女性部会 会長）             |                                                                                     |             |
|  | 菊地 啓一（前フォルクスワーゲングループ ジャパン(株) 監査役）   |                                                                                     |             |

当土地改良区では、3つの常任委員会（企画、総務、管理）を設置し、豊総理事はいずれかに所属しています。政策提案にあたり、各委員会では課題を分担し検討を進めています。そこで、今回は豊総理事から各委員会での検討状況を報告し、その後、会員間での意見交換を行いました。

### II.趣旨（会長あいさつより）

国が男女共同参画を推進する中で、意思決定の場に女性を約3割登用することを目標として掲げています。豊総理事は、上記委員会で政策提案の検討に携わっています。今回の会議では、検討の現状報告に対して会員の皆様からご意見を頂くことにより、政策検討に新たなアイデアを提案できる良い機会になると考えています。

### III.報告・協議内容

- 1.「豊川用水次世代農業推進協議会」とは？
- 2ー(1)「カーボンニュートラル」の検討状況報告と意見交換
- 2ー(2)「新たな基盤整備」の検討状況報告と意見交換
- 2ー(3)「防災・減災対策」の検討状況報告と意見交換

#### 1.「豊川用水次世代農業推進協議会」とは？

##### 豊川用水地域における農業の現状と課題

豊川用水地域（豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、湖西市）は、農業産出額が1,680億円（令和4年）にのぼり、これは、6市だけで県別ランク18位に次ぐほどの全国屈指の農業先進地域である。しかし、全国的に農業の課題とされている農地（経営耕地面積）の減少、農家（経営体）の減少、農家の高齢化が、この地域でも深刻化している。

##### 協議会の設立

そこで、当地域の農業の現状を踏まえた総合政策を提案・実行する「豊川用水次世代農業推進協議会（以下、協議会）」が設立された。ここでは、農業の持続的発展のために、豊川用水の高度な利用はもとより、「生産」から「消費」に至る広範で多様な検討が行われている。



柴田芳子



山内祐子

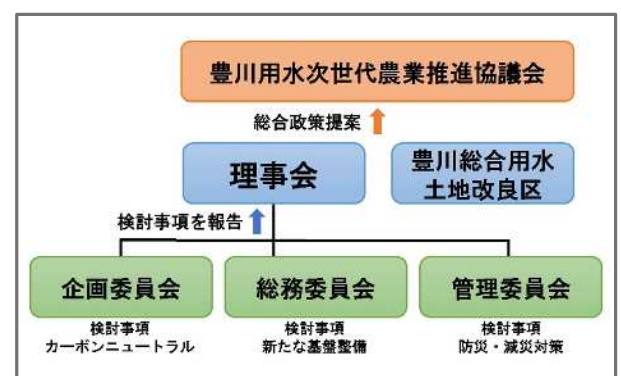


渡辺泰弘



杉本あき

報告の様子



総合政策提案検討イメージ

## 2-①. カーボンニュートラル(企画委員会)

工場などから発生する CO<sub>2</sub> (二酸化炭素) を回収し、農業用ハウスへ供給することにより、農作物の光合成が促進し、収量の増加が期待されている。しかし、CO<sub>2</sub> の回収や運搬にかかるコストに加え、実用性、企業と農家の相互理解が進んでいないなどの課題が存在する。

そこで、委員会では企業と農家との意見・情報交換の場を設けること、モデル地区を選定し、実証実験を行うことを提案することとした。



意見交換の様子

### 意見 🐣

中干し期間の延長など、農業で発生する CO<sub>2</sub> を削減することもできる。そういった経費が少ない取り組みも検討してはどうか。

### 意見 🐹

カーボンニュートラルは、企業ではもう取り組み始めているだろう。大企業よりも、地元企業との連携の方が良いのでは。

### 意見 🐱

企業に個々に話しに行くよりも、工場団地一帯の窓口になってくれるところを通した方が良いと思う。同じ地区に工場を持つ企業間のコミュニティがあるはず。

### 意見 🐯

農家と企業のメリット・デメリットを示し、ウィンウィンの関係になれるのではないか、という交渉も必要だと思う。このような交渉の場に女性が積極的に参加し、能力を発揮することが期待される。

## 2-②. 新たな基盤整備(総務委員会)

ロボット技術や ICT を活用したスマート農業を導入することで、効率的な生産が可能になると見込んでいる。しかし、導入や維持にかかるコスト、現状の区画面積から発生する課題により、豊川用水地域での水稻、露地栽培では導入があまり進んでいない。

委員会では、まずは農地の集約、大区画化を提案することとした。

### 意見 🐰

うちのハウスにも、環境モニタリング装置を付けている。ここでの数値を参考に装置を付けていないハウスにも良い環境管理ができる為、生産性が上がった。

### 意見 🐼

環境制御装置をすべてのハウスに設置するのはコスト面で難しいが、数値による再現性が可能になることが重要だと思う。

## 2-③. 防災・減災対策(管理委員会)

豊川用水には、現状で耐震設計されていない揚水機場の建屋、ファームポンドが数多く存在している。(独) 水資源機構が実施する、現在の基準に基づく耐震照査や、老朽化対策検討、再編検討、基幹施設の整備検討に関する説明を受けたことにより、耐震対策の緊急性を把握した。

委員会では、水資源機構による地震に強いファームポンドや建屋等の更新、ICT を導入した一体的な管理ができる施設への全面的な改修、老朽化したすべての支線水路の改修の新たな事業化を提案することとした。

## IV.総括

今回は、政策を検討する「意思決定の場」で、女性がどのように活躍しているか現状を知って頂きました。検討事項は、ハード面の取り組みでしたが、ソフト面での政策策定も重要となる「後継者問題」、「儲ける農業経営」等の課題検討においても、女性の参画により従来とは異なる視点やアイデアが生まれることが、男女共同参画推進の成果として重要であり、求められていることと考えています。



会長：功刀由紀子